

イタセンパラシンポジウム in 淀川 2018のご案内

イタセンパラの生息確認ができなかった2011年8月、「淀川にイタセンパラを再び泳がせよう」を合言葉に淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク(略称イタセンネット)は結成され、淀川城北ワンド群で外来種駆除活動を始めました。2013年には城北ワンド群でイタセンパラの公開放流が行われ、現在、放流魚は個体群を拡大し、多種類の在来魚も戻ってきました。このように淀川水系においてはごく狭い水域で生態系の回復が見られますが、全国的には環境の変化や外来種の影響を受けて、淡水魚類の危機的状況が続いています。

この度、イタセンパラをはじめとする希少種の保護ならびに生物多様性の増進の活動のためのプラットフォームの構築を主題に、各地の淡水魚保護活動家、専門家による講演、パネルディスカッション、討議を行い、今後の方向性を探るシンポジウムを下のよう開催いたします。併せて繁殖期のイタセンパラの一般公開水槽展示と翌日には城北ワンド群でのイタセンパラ保護活動の見学会を行います。ご参加くださいますようお願い申し上げます。

行事名 イタセンパラシンポジウム in 淀川 2018～希少淡水魚保護／生物多様性増進活動のプラットフォームの構築～
会場 大阪工大梅田キャンパス OIT 梅田タワー2階セミナー室 203 (大阪市北区茶屋町1番45号) 他
主催 淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク
共催 大阪府立環境農林水産総合研究所生物多様性センター
後援 全国ブラックバス防除市民ネットワーク、環境省近畿地方環境事務所、国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所、常翔学園大阪工業大学、同工学部都市デザイン工学科
日時 2018年10月20日(土)、21日(日)

A. シンポジウムならびにイタセンパラの水槽展示およびパネル展示

(1) シンポジウム

日時 2018年10月20日(土) 14:00-17:30
会場 大阪工業大学梅田キャンパス OIT 梅田タワー2階セミナー室 203 (右図、大阪市北区茶屋町1番45号)
 JR大阪駅、地下鉄/阪急/阪神/梅田駅から5-7分

内容

14:00-16:05 講演
 講演1 世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ館長 池谷幸樹
 講演2 氷見市教育委員会学芸員 西尾正輝
 講演3 大阪府立環境農林水産総合研究所生物多様性センター長上原一彦
 16:15-17:30 パネルディスカッション
 話題提供1 国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所
 話題提供2 環境省近畿地方環境事務所
 話題提供3 日本魚類学会・京都大学准教授 渡辺勝敏

参加費 500円(含資料代、シンポジウム会場受付にて申し受けます)

参加法 事前申込(満席の場合は参加をお断りすることもあります)

(2) イタセンパラの水槽展示とその生態に関するパネル展示(府立環境農林水産総合研究所生物多様性センター)と淀川水系における近年のイタセンパラ保護活動のパネル展示

日時 2018年10月20日(土) 13:00-17:00、**会場** OIT 梅田タワー1階ギャラリー

参加法 自由閲覧、無料(天然記念物保護の監視員・パネル説明員付)

B. 懇親会

日時 2018年10月20日(土) 18:00-20:00、**会場** OIT 梅田タワー1階、オイスターバー ワーフ

会費 5,000円(シンポジウム会場受付にて申し受けます)

参加法 事前申込

C. 見学会

日時 2018年10月21日(日) 9:30-12:00
場所 淀川本川城北ワンド群34号、35号ワンド付近(菅原城北大橋南詰め河川敷; 大阪市旭区生江)

アクセス JR大阪駅前より大阪シティバス9番乗場34号系統守口車庫行き乗車、城北公園前下車徒歩5分(所要時間約30分)
 京阪電車千林駅より徒歩25分
 大阪メトロ谷町線千林大宮駅より徒歩15分

内容 イタセンパラの保護活動と地曳網による定期外来魚駆除活動/捕獲魚の分類の説明と視察
参加法 事前申込、無料、自己責任による現地集合・駆除活動・解散。駆除活動参加希望者は胴長等持参下さい。

D. 宿泊

宿泊先 見学会のサイトに隣接の大阪工業大学研修センターが利用できます(相部屋、1000円程度)。
申込 部屋数が少ないので先着順とします。参加申込の際に、D:宿泊希望とご指示下さい。

参加申込 各行事(上記A,B,C,D)の参加の有無、氏名、所属、メールアドレス、電話番号をメールに記して、itasensym2018@gmail.com までお申し込み下さい。

事務局/連絡先

淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク事務局

寝屋川市木屋元町10-4 大阪府立環境農林水産総合研究所生物多様性センター内 TEL. 072-833-2770



淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク連携団体: 環境省近畿地方環境事務所、国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所、大阪府環境農林水産部みどり企画課、大阪農林水産総合研究所、大阪市旭区役所市民働楽まち魅力担当、大阪市立自然史博物館、(公財)河川財団、(公社)大阪自然環境保全協会、(一法社)消防府立環境潜水連盟、(一社)水生生物保全協会、(株)アクアタイムズ、旭屋市運営委員会、(株)天辻鋼球製作所、(株)エコトラック、NPO人エコネット近畿、大阪工業大学城北水辺クラブ、大阪国際大学・同短期大学部地域協働センター、大阪国際大学・同短期大学部プレッパーズ部、大阪産業大学エコ推進プロジェクト、大阪産業大学水生生物研究室、大阪商業大学経済学部原田ゼミナール、大阪トヨタ自動車(株)お客様関連部、大阪トヨタ豊友会、大阪府立大学キャンパスビオトープ研究会、大阪府立大学里環境の会OPU、近畿大学バスバスターズ、京都水族館、沢井製菓(株)CSR地球環境チーム、自然にみちた水辺プロジェクト、水生生物センター・サポートスタッフ、せいわエコクラブ、摂南大学エコシビル部、武田薬品工業(株)環境安全管理室、NPO法人nature works、パシフィックコンサルタンツ(株)、パナソニックエコリレー ジャパン、パナソニック松愛会大阪市内支部、人を自然に近づける川いっい会、琵琶湖を戻す会、淀川管内河川レンジャー、淀川水系イタセンパラ研究会、淀川を守ろう会、ルネサンス大阪高等学校環境保全クラブ(2018年3月現在)

イタセンパラの水槽展示は文化庁の許可を得て行っています。本事業は地球環境基金の助成を得て行っています。この案内状は古紙を配合した再生紙を使用しています。シンポジウム会場、見学会場へは温暖化防止対策のため交通公共機関を利用して下さい。

